

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	個別ケアを大切にするという考えや実際にしている外出の様子が家族に伝えきれていないように思われる。そのため、家族に伝える工夫をおこなう。	本人の気持ちや家族の意向を基にケアプランの中で外出を計画し、実施する。外出したことを見える化したり、直接、家族に報告し、ケアの内容を周知する。	外出等の企画を実施する場合、事前・事後の報告を家族におこなう。可能な限り、家族の参加も働きかける。実施の様子を写真で記録し、家族に見てもらう。全家族には、写真ファイルを常備し、閲覧してもらう。また、映像を活用して家族懇親会等の場で外出等の取り組みを報告する。	12ヶ月
2	2	新規事業を進めるに当たり、地域との関係性を強化する必要がある。地域住民はもちろん、自治会、老人会、学校など各種諸団体とも関わることで、「あすならホーム桜井」を知ってもらうことを進める。	自治会、老人会、地域の幼稚園・保育園、学校関係との意見交換(挨拶)をおこない、認知度を高め、交流をもつ機会を見出していく。	企画の参加機会を捉え、自治会、老人会との関係を深める。近隣の幼稚園、小学校、中学校、高校等、可能なところから挨拶も兼ねて訪問し、交流の意思をお伝えする。意思がある学校には、交流の具体化に向けて、意見交換をすすめ、実現していく。また、地域の方々への働きかけを通じ、機会をつくる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。